



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 ネボン株式会社

コード番号 7985 URL <http://www.nepon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼代表執行役員 (氏名) 福田 晴久

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼常務執行役員管理本部長 (氏名) 清家 元

TEL 03-3409-3159

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,546	8.1	△92	—	△116	—	△101	—
24年3月期第2四半期	2,354	△0.8	△162	—	△191	—	△201	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	△8.46	—
24年3月期第2四半期	△16.83	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円銭	百万円	円銭	%	円銭	円銭	
25年3月期第2四半期	5,246	—	1,030	—	19.6	85.98	—	
24年3月期	4,941	—	1,138	—	23.0	95.01	—	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,030百万円 24年3月期 1,138百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円銭	
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	6,100	2.8	135	13.4	75	△55.5	35	△74.6	2.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料 P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	12,028,480 株	24年3月期	12,028,480 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	45,808 株	24年3月期	45,484 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	11,982,924 株	24年3月期2Q	11,984,051 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の震災復興とともに景気回復の兆しがあるものの、欧州諸国の財政不安や円相場の長期的な高止まりの影響等、先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中で、当社は平成23年5月10日に公表いたしました中期経営計画に沿って、『お客様が求める環境作りのために私たち（社員）はお客様の声を起点に農と住の明日を創造する会社を目指します。』を事業骨子とし、引き続き販売力の強化や新製品の開発に取り組んでおります。

当第2四半期会計期間において、当社が主力としております熱機器事業の農用機器は九州地区の豪雨の影響による農業者向け支援事業及び東日本大震災の復興事業等により、主力の農用機器が出荷増となった結果、前年を上回る売上となりました。

また、汎用機器においても厳しい価格競争の中、拡販活動に取り組んだ結果、前年同期より売上高を伸ばすことが出来ました。

以上の結果により、売上高は25億4千6百万円(前年同期比8.1%増)となりました。

損益面においては、売上高の増加と生産性の向上により、営業損失は9千2百万円(前年同期1億6千2百万円の営業損失)と前年同期に比べ6千9百万円の改善となり、経常損失は1億1千6百万円(前年同期1億9千1百万円の経常損失)と前年同期に比べ7千4百万円の改善となりました。

四半期純損失は、法人税等調整額2千6百万円を計上した結果、1億1百万円(前年同期2億1百万円の四半期純損失)と前年同期に比べ1億円の改善となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ、流動資産の「その他」に含まれる未収金が8千8百万円減少しましたが、売上債権が2億7千4百万円、棚卸資産が3千6百万円増加したこと等により、2億6千5百万円の増加となりました。

固定資産は、前事業年度末に比べ、設備投資が増加したこと等により、3千9百万円の増加となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ、流動負債の「その他」に含まれる未払金が4千3百万円、短期借入金が3千3百万円増加しましたが、仕入債務が1億8千4百万円減少したこと等により、1億1百万円の減少となりました。

固定負債は、前事業年度末に比べ、長期借入金が4億7千6百万円、退職給付引当金が3千8百万円増加したこと等により、5億1千4百万円の増加となりました。

(純資産)

純資産の部は、四半期純損失を1億1百万円計上したこと等により、前事業年度末に比べ、1億8百万円の減少となりました。

以上の結果、前事業年度末に比べ、総資産は3億4百万円増加し、52億4千6百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4億3千6百万円の支出（前年同期1億3千4百万円の支出）となりました。

その主な要因は、税引前四半期純損失の計上1億1千7百万円、売上債権の増加2億7千3百万円、たな卸資産の増加3千6百万円、仕入債務の減少1億8千4百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、8千4百万円の支出（前年同期3千6百万円の支出）となりました。

その主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出5千9百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億1千万円の収入（前年同期5億9千1百万円の収入）となりました。

その主な要因は、借入金の純増による収入5億1千万円であります。

この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、6億8千8百万円（前年同期7億7千4百万円）となりました。

(4) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年5月9日に公表いたしました数値から変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失への影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	783,148	801,761
受取手形及び売掛金	1,339,163	1,613,920
商品及び製品	499,601	508,965
仕掛品	122,070	183,182
原材料及び貯蔵品	611,951	577,794
その他	227,172	165,116
貸倒引当金	△16,296	△18,764
流動資産合計	3,566,811	3,831,977
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	555,954	557,863
その他（純額）	481,265	538,805
有形固定資産合計	1,037,220	1,096,668
無形固定資産	62,711	59,945
投資その他の資産		
その他	319,195	301,245
貸倒引当金	△44,642	△43,776
投資その他の資産合計	274,552	257,468
固定資産合計	1,374,484	1,414,083
資産合計	4,941,296	5,246,060
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	902,385	718,248
短期借入金	1,358,864	1,392,807
未払法人税等	25,377	14,319
その他	210,682	270,750
流動負債合計	2,497,308	2,396,126
固定負債		
長期借入金	601,520	1,078,033
退職給付引当金	606,142	645,134
役員退職慰労引当金	66,208	66,458
資産除去債務	18,661	18,678
その他	12,937	11,311
固定負債合計	1,305,469	1,819,615
負債合計	3,802,778	4,215,741

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,424	601,424
資本剰余金	480,463	480,463
利益剰余金	73,662	△27,659
自己株式	△7,073	△7,156
株主資本合計	1,148,476	1,047,072
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9,958	△16,753
評価・換算差額等合計	△9,958	△16,753
純資産合計	1,138,517	1,030,319
負債純資産合計	4,941,296	5,246,060

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	2,354,946	2,546,723
売上原価	1,576,765	1,646,371
売上総利益	778,180	900,351
販売費及び一般管理費	940,239	993,016
営業損失(△)	△162,058	△92,665
営業外収益		
受取利息	308	242
受取配当金	899	999
受取地代家賃	4,200	4,200
貸倒引当金戻入額	283	—
その他	4,882	4,204
営業外収益合計	10,574	9,647
営業外費用		
支払利息	31,898	30,402
その他	7,670	3,124
営業外費用合計	39,569	33,526
経常損失(△)	△191,053	△116,544
特別損失		
固定資産除却損	450	737
特別損失合計	450	737
税引前四半期純損失(△)	△191,504	△117,282
法人税、住民税及び事業税	10,297	10,430
法人税等調整額	△111	△26,391
法人税等合計	10,186	△15,960
四半期純損失(△)	△201,690	△101,321

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△191,504	△117,282
減価償却費	45,522	43,243
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	44,436	43,768
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,250	250
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△722	1,601
受取利息及び受取配当金	△1,208	△1,242
支払利息	31,898	30,402
有形固定資産除却損	450	737
売上債権の増減額 (△は増加)	208,972	△273,890
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△70,528	△36,319
仕入債務の増減額 (△は減少)	△161,673	△184,136
その他	11,309	104,939
小計	△80,797	△387,929
利息及び配当金の受取額	1,208	1,241
利息の支払額	△33,591	△29,707
法人税等の支払額	△20,965	△20,527
営業活動によるキャッシュ・フロー	△134,145	△436,923
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△60,000	△90,000
定期預金の払戻による収入	60,000	60,000
有形固定資産の取得による支出	△23,899	△58,852
無形固定資産の取得による支出	△3,471	△464
保険積立金の解約による収入	5,540	1,368
保険積立金の積立による支出	△1,332	△754
その他	△13,762	3,866
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,925	△84,837
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	970,000	600,000
短期借入金の返済による支出	△906,000	△700,000
長期借入れによる収入	810,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△282,201	△289,544
自己株式の取得による支出	△46	△82
財務活動によるキャッシュ・フロー	591,752	510,373
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	420,681	△11,387
現金及び現金同等物の期首残高	353,641	700,148
現金及び現金同等物の四半期末残高	774,322	688,761

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。